

## 第8回 印刷産業環境優良工場表彰

### 総評

第8回目を迎えた今回は前回同様、関東地区を中心に中小規模の工場が多かったが、地方に優秀な工場が多かった点に特徴があった。今回も環境配慮のレベルの高い工場が多かったが、特に大臣賞推薦の工場は総合的レベルが抜きんでていた。また、局長賞、会長賞は僅差の判定となったが、GP認定工場を中心に堅実な環境対応を行っている工場が今回は多く見られた。ただし、応募総数が前回並みであり、さらなる表彰制度の周知と印刷工場の積極的な挑戦、及び印刷産業界全体の環境配慮レベルの底上げが必要と考えられる。

## 経済産業大臣賞

### 精英堂印刷株式会社 本社工場



代表者名 鈴木 高明  
工場所在地 山形県米沢市  
所属団体 全日本印刷工業組合連合会／全日本シール印刷協同組合連合会

### ●表彰理由●

本工場は、地方の代表的な中堅企業でパッケージ・ラベルなどの印刷物を主力とするオフセット総合印刷工場である。経営者の環境経営の意識が高く、方針が全社員に浸透している。環境マネジメントシステムはISO14001やGP認定工場を認証取得し、環境パフォーマンスが確実に上がっており、業界水準を超えている。また古紙リサイクル対応型UVインキやVOC排出削減の水洗浄インキの開発や省エネ活動、CO<sub>2</sub>計算シートや顧客ニーズのELV、RoHS、REACHに対応できる化学物質管理システムを構築するなど、環境保全の取組みや環境配慮製品の提案に積極的である。環境活動は見える化が進み、協力企業への環境活動の支援にも注力しており印刷業界のモデル工場としてハード、ソフトの両面から高く評価でき、総合的に判断して経済産業大臣賞に賞する。

## 経済産業省商務情報政策局長賞



### 三美印刷株式会社 町屋総合工場

#### ●表彰理由●

本工場は、都内の工業地域に立地する中規模のオフセット印刷工場であり、周辺はマンション、スーパーなどが混在する地域となっている。事業内容は約70%が書籍、定期刊行物、学会誌等の印刷物を製造している。経営者の方針のもと建物内部の遮音、屋上緑化、太陽熱温水器、生産性の高い印刷機の導入、VOC削減のための自動洗浄装置などハード面の環境改善投資が積極的に行われている。営業活動は印刷物の環境配慮の内容を顧客に発信し新規得意先の開拓の成果もある。ISO14001、GP工場認定など認証、認定に積極的に取り組み、工場管理、営業活動に役立てている。印刷業界での環境活動にも積極的に参加しており、総合的に判断して経済産業省商務情報政策局長賞に賞する。

代表者名 山岡 景仁  
工場所在地 東京都荒川区  
所属団体 全日本印刷工業組合連合会

### 相互印刷工芸株式会社 本社工場



#### ●表彰理由●

本工場は、都内の準工業地域で操業している中規模のオフセット印刷工場であり、周辺は3方がマンション、1方が河川という立地条件である。事業内容はカタログ、ポスター、チラシ等の商業印刷物を中心に製造を行っており、デザイン提案から加工・納品に至るまで自社内で行うことで顧客との長年にわたる信頼関係を築いてきている。環境面においては、都市型工場が一番懸念される騒音、振動、悪臭問題等の感覚公害へのリスク対応に十分配慮した取組を行っている。経営者の積極的な環境対応への姿勢のもとGP認定工場の認証取得など環境活動に取組むと共に中学生インターン受け入れ等の社会貢献活動にも積極的に取組んでおり、総合的に判断して経済産業省商務情報政策局長賞に賞する。

代表者名 北條 晴久  
工場所在地 東京都江東区  
所属団体 全日本印刷工業組合連合会

# 社団法人 日本印刷産業連合会 会長賞

## ナイテック工業株式会社 亀岡工場



### ●表彰理由●

本工場は、グラビア印刷による転写箔の製造を行う環境負荷の高い大規模の印刷工場である。自主管理基準を設定した工場周辺環境対策をはじめ、ISO14001に基づく法的対応が優れており、ゼロエミッションの推進、CO<sub>2</sub>排出量の原単位での削減取組、PRTR届出対象物質の削減など、全体的な取組を堅実にを行い、その他工場周辺環境対策、広域的環境対策等全般にわたり同業種の他の工場に比較して高水準であることから、社団法人日本印刷産業連合会会長賞に賞する。

代表者名 辻 良治  
工場所在地 京都府亀岡市  
所属団体 印刷工業会

## 新日本印刷株式会社 瑞浪工場



### ●表彰理由●

本工場は、中小規模のオフセット輪転印刷工場である。委員会活動など環境マネジメントシステムに優れており、遵法対策、省エネ・省資源化、VOCの拡散防止、グリーン購入の推進など基本的な対策を着実にを行い、G<sub>P</sub>認定を受けている。また、その他工場周辺環境対策、広域的環境対策等全般にわたり同業種、同規模の他の工場に比較して高水準であることから、社団法人日本印刷産業連合会会長賞に賞する。

代表者名 細井 俊男  
工場所在地 岐阜県瑞浪市  
所属団体 全日本印刷工業組合連合会

## 東京リスマチック株式会社 西台工場



### ●表彰理由●

本工場は、比較的規模の大きい商業印刷物を中心としたオフセット印刷工場である。VOCを含むインキや資材の環境配慮、紙の徹底した分別・リサイクルのほか、エコキャップ推進活動や5S活動、エコニュースの発信など工場全員参加の活動が充実している。また、その他工場周辺環境対策、広域的環境対策等全般にわたり同業種の他の工場に比較して高水準であることから、社団法人日本印刷産業連合会会長賞に賞する。

代表者名 鈴木 隆一  
工場所在地 東京都板橋区  
所属団体 日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会

## 芳生グラビア印刷株式会社 加西工場



### ●表彰理由●

本工場は、環境負荷の高い中小規模の軟包装グラビア印刷工場である。基本的な環境対策に加え、特にCO<sub>2</sub>排出削減に関しデマンド制御、インバータ制御など様々な対策とハイレベルなマネジメントを行っているのが特徴である。その他工場周辺環境対策、広域的環境対策等全般にわたり同業種の他の工場に比較して高水準であることから、社団法人日本印刷産業連合会会長賞に賞する。

代表者名 米谷 和彦  
工場所在地 兵庫県加西市  
所属団体 全国グラビア協同組合連合会/全日本印刷工業組合連合会

# 社団法人 日本印刷産業連合会 奨励賞

本8工場は、環境優良に努力を払うとともに改善が認められ、特にその活動に特色があることから、その業種の特殊性や企業規模をも鑑み、今後のさらなる環境改善を期待し、社団法人日本印刷産業連合会環境優良工場奨励賞に賞する。

## 株式会社ミドリ印刷 本社工場



代表者名 坂本 満成  
工場所在地 福岡県福岡市  
所属団体 全日本印刷工業組合連合会

## 株式会社明祥 本社工場



代表者名 工藤 久志  
工場所在地 東京都江東区  
所属団体 全日本印刷工業組合連合会

## 能登印刷株式会社 松任工場



代表者名 能登 隆市  
工場所在地 石川県白山市  
所属団体 全日本印刷工業組合連合会

## 金山印刷株式会社 千葉工場



代表者名 金山 智一  
工場所在地 千葉県千葉市  
所属団体 全日本印刷工業組合連合会

## 株式会社笠間製本印刷 本社工場



代表者名 笠間 史盛  
工場所在地 石川県白山市  
所属団体 全日本製本工業組合連合会

## 株式会社シール片山 本社工場



代表者名 田中 剛  
工場所在地 長野県上田市  
所属団体 全日本シール印刷協同組合連合会

## 株式会社アイ・エス・アイ 本社工場



代表者名 佐竹 博志  
工場所在地 福島県伊達市  
所属団体 全日本スクリーン・デジタル印刷協同組合連合会

## 宏和樹脂工業株式会社 戸田工場



代表者名 鶴田 和也  
工場所在地 埼玉県戸田市  
所属団体 全日本光沢化工紙協同組合連合会

### 選考経過

第8回表彰制度の応募要項、審査基準等については、今まで7回にわたる審査の経験を基に、平成21年2月より環境優良工場表彰審査委員会（田島久義委員長）にて検討を重ね作成した。

また、選考方法については、今までと同じく、環境優良工場表彰審査委員会（以下・審査委員会）と環境優良工場選考委員会（以下・選考委員会）の2つの委員会審査を経て、より公正な選考を実施すること。選考基準については、社会的な評価に十分耐えられるような客観的な基準と各会員団体の特殊性、印刷産業の特殊性に十分考慮した基準とすることとした。

#### (1)審査委員会について

印刷産業の特殊性を考慮し、環境問題の専門家及び各団体の実状に詳しい団体派遣委員で委員会を構成し、応募工場の環境対応をより正確にかつ多面的に把握できる体制を整えた。委員長は全印工連の田島久義氏にお願いした。

#### 〈委員構成〉

- ・専門委員 6名
  - ・会員10団体派遣委員 11名
  - ・オブザーバー（経済産業省） 2名
- 計19名

#### 〈審査委員会の開催実績〉

- ・平成21年2月13日（金）
- ・平成21年4月7日（火）
- ・平成21年5月8日（金）
- ・平成21年6月16日（火）
- ・平成21年7月2日（木）
- ・平成21年7月9日（木）
- ・平成21年8月3日（月）

#### 〈現地調査〉

専門委員・会員団体派遣委員・オブザーバー・事務局の編成で現地調査を実施。

#### (2)選考委員会について

客観性、公平性を考慮し、環境問題に詳しい学識経験者並びに有識者で構成する委員会とし、委員長を東京農工大学名誉教授の大江礼三郎氏にお願いした。

#### 〈委員構成〉

- ・学識経験者・専門家 3名
  - ・マスコミ関係者 2名
  - ・印刷産業関連業界 4名
  - ・行政機関 1名
- 計10名

#### 〈選考委員会の開催実績〉

- ・平成21年8月6日（木）  
於：日本印刷会館会議室

#### (3)各賞の選考基準

各賞を選考するに際しての基準は以下の通りである。

##### □大臣賞・局長賞について

環境対応の総合的な評価が最も優秀な工場を、印刷産業の最優秀環境優良工場として社会的にも十分評価される水準の工場を候補として選定する。

##### □会長賞について

総合評価の高い上位ランクの工場の中で、設備・材料・環境負荷などの業界・団体の特異性を考慮の上、会長賞候補工場を選定する。

##### □奨励賞について

業界団体の特異性、規模・地域性等を考慮し、各団体毎に最も優秀な工場、または、特色ある環境への取り組みが優秀である工場を奨励賞の候補として選定する。